

全国有数の農業県

- 農作物は首都圏の**大消費地**へ
- **農業産出額1位**のさといも・ねぎ
野菜は全国トップクラス
小麦・花き・茶も全国有数
(R3農林水産省調べ)



埼玉県農業大学校

農業の担い手を育成する教育機関

毎年**約70名**の卒業生が就農



いま農業教育の現場で起きていることは、、、

● 農業大学校の学生確保

県内高校生は8年連続
減少傾向
(R4県統計情報)

● DX化への対応

教育：デジタル化
農業：スマート農業

● 多様な就農方法

卒業後は、、、
農業法人へ
関連産業へ

事業の
目的

埼玉県の農業を担う人材の確保・育成

確保

- 農業大学校への入学を推進

育成

- 農業教育のD X
- カリキュラム充実



いま農業に必要とされる教育の推進

● 高校生宿泊研修

- ・ 農業高校生への農業大学校の実習を体験研修
- ・ 農業大学校のカリキュラムの説明、入学の案内等



● eラーニングシステムにより、いつでもどこでも講義を受講

- ・ 大学校の授業を動画で録画し、クラウド上に保存
- ・ 授業後の復習、スマホで視聴、遠隔講義など農業教育のD X化



● 卒業後の進路にあわせたコース別学習

- ・ 学生の志望進路ごと4コース（自営就農、親元就農、就職就農、関連産業）を設置
- ・ 入学後、学生へ早期に卒業後の進路を意識づける
- ・ コースに合わせたカリキュラムを設定し、農業現場で活用できる技術の習得を図る



事業
内容

得られる
成果等

- **教育の充実**
 - ➡ 卒業生の就農率の向上
- **農業大学校の卒業生の活躍**
 - ➡ 農業法人や関連産業への就職も！

寄附を
する
メリット
等

- **未来の農業の担い手への投資**
 - ➡ 食料安全保障の必要性が叫ばれるなか、農業人材の育成に貢献できます！
- **農業の担い手とのつながり**
 - ➡ 農業は食品加工や機械メーカーなど様々な産業と連携できます。つながるチャンスです。

・学生の農家割合が下がる中で、就農率と進路決定率はやや上昇

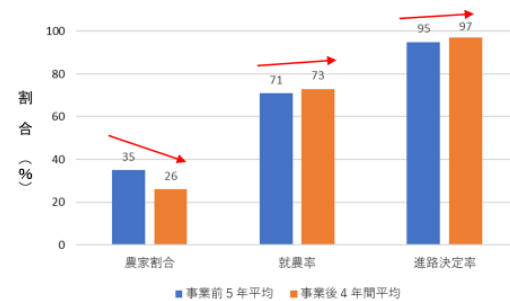


図 事業実施前5年間と実施後4年間の学生と就農状況の比較

就農率の向上



9

現場で必要とされる**即戦力**の
人材の育成



【連絡先】 農林部農業支援課 新規参入支援担当 担当：青木
 電話 : 048-830-4052 (直通)
 MAIL : aoki.takeshi.bn@pref.saitama.lg.jp